

未来会議レポート

グループディスカッションでは、2つのテーマについて意見交換を行いました。

1つ目のテーマは「つい見ちゃう議会だより」として、より多くの方、特に若い世代の方にも議会だよりを読んでもらうためにはどうしたらいいかを考えました。

2つ目のテーマは「八尾市にこんなことやってほしい」「八尾にこんなあったらいいな」として、八尾市の現状を踏まえ、ずっと住み続けたいと思うまちにするためには何が必要かを考えました。

大学生の目線での意見をたくさん出し合い、最後には議場においてグループでまとめた意見を発表しました。

グループディスカッション Part1 「つい見ちゃう議会だより」

大学生の意見 (一部抜粋)

- ・「いくら使ったのか」を数字で明記し、分かりやすく伝える。
- ・「市議会って何をしているの？」が分かる基礎ページを設ける。
- ・次回予告や継続企画を載せ、「また読みたい」と思わせる構成にする。
- ・「〇〇決定!!」など、漫画のような見出しで内容を直感的に伝える。
- ・派手な色・大きなタイトル・イラストやキャラクターを使い、手に取りたくなる表紙にする。
- ・専門用語はできるだけ使わず、必要な場合は振り仮名や簡単な説明を入れる。
- ・文字数を減らし、フォント変更や色分けで重要ポイントがすぐ分かる紙面にする。



グループディスカッション Part 2 「八尾市にこんなことやってほしい」 「八尾にこんなあったらいいな」

大学生の意見 (一部抜粋)

- ・道路の道幅を広くし、消えかかっている白線や高低差で見えづらい信号機の場所を改善し、自動車も自転車も歩行者も安全な道に。
- ・渋滞を緩和するため、右折の矢印信号機やレーンを増設してほしい。
- ・JR線と近鉄線をつなぐ交通連絡網があれば移動がしやすくなる。
- ・小学校の通学路に危険な箇所が多いので改善してほしい。
- ・大がかりなイルミネーションやライトアップなど、八尾に人が来てもらえる仕掛けをつくる。
- ・八尾の子どもたちが自分のまちに誇りを持つことができるように、八尾の特産品を様々な売り場でアピールする。
- ・八尾にしかない「全国一」と呼べるものをつくってほしい。



大学生と議会をつなぐ未来会議2025

大阪経済法科大学 × 議会だより編集委員会

八尾市議会では、これまで「市議会×高校生プロジェクト」として高校生との座談会など、若い世代との交流を通じて議会をより身近に感じてもらう取り組みを行ってきました。

今回、「大学生と議会をつなぐ未来会議2025」と題して、大阪経済法科大学の学生と議会だより編集委員会の議員が意見交換を行いました。

八尾市議会では大阪経済法科大学と地域連携に関する覚書を締結しており、これまでインターンシップ生の受入れや大学の授業への協力など、大学と連携した取り組みを行っています。

